排水の水質規制を守っていますか?

長期間 水に浮き続け、水面の油膜を吸着します。

ISO14000に役立ちます!

OIL BLOCK

水面油膜除去油吸着材

オイルブロック



·排水規制について ·使用方法·交換目安 ·他社比較データ ·製品説明



事業場排水の水質規制



公共下水への排水については、公共用水域の水質保全と 下水道施設維持管理等の観点から水質規制が行われています。

水質汚濁防止法:工場及び事業場から、特定施設の破損その他の事故が 発生して、有害物質または油を含んだ水が公共用水域に 排出される場合、または地下に浸透した場合は、 応急処置を講じるとともに都道府県知事に届けなければなりません。

油に関しては、ノルマルヘキサン抽出物質の排水基準値、

鉱油(5 mg/トネル以下)、動植物油(30 mg/トネル以下)が標準な規制値です。

 $(\mathbf{m} \mathbf{g} / \mathbf{l} \mathbf{m} \mathbf{g} = \mathbf{p} \mathbf{p} \mathbf{m})$

ノルマルヘキサン抽出物質とは、ノルマルヘキサンに可溶性のある油分などをいう。 (プレーキオイル、エンジンオイル等で整備工場・自動車ディーラー・GSでも使用されている) ノルマルヘキサンは、溶媒、抽出剤、接着剤、染み抜き、精密機械の洗浄剤として用いられる

生活環境や農業への被害を防ぎましょう

近くに水田・用水路や畑がありませんか? 油が流出してしまうと、農作物に被害が出る恐れがあり、 もし被害が出れば、損害を補償するような問題になります。





油水分離槽を 定期的に 掃除することが必要です。

油水分離槽とは・・・

油を貯蔵、給油する施設に於いて設置が義務付けられている連続型の桝です。

予防に努める為に、水面油膜除去 オイルブロックが効果的

油水分離槽の掃除は、

水の入れ替え・汚泥の抜き取り等時間と労力が必要で、コストがかかります。

労力とコストをかけず油流出の予防に努める方法が、『オイルブロック』です。 水面油膜除去油吸着材『オイルブロック』を常に水面に浮かべておけば もし、油が流れてしまった時にでも、油流出を予防する事ができます。

オイルブロックの特長

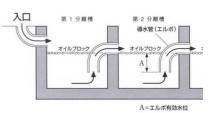
- 1.水をほとんど吸収しないため、油を吸着した後も沈みません。
- 2. 最終槽の排水の / ルマルヘキサン抽出物質含有量を低減 します。(5ppm以下可能)
- 3.分離槽の内壁・エルボ等の油溜まりの除去が出来、清掃効果大。
- 4.分離槽の表面をオイルブロックが蓋(フタ)替わりになり 臭気(硫化水素ガス)の発生を緩和します。

使用方法 (使用できる分離槽は配管がエルボ型のみです)









1×4型

2×2型

図.エルボ管説明

最終放流槽以外の槽に、袋を破いて投入するだけです。



・箱を開ける



・中身を確認する



・透明なポリエチレン袋から、中袋のまま取り出す



・中袋(水溶性フィルムPVA)に梱包されている



・その水溶性フィルムのまま水面へ投入する



・数秒後に水溶性袋が溶けはじめる



・オイルブロックが水面全体に分散する

水面全体に分散させ、水面を隠すことが重要です。 使用量は面積で決まり、0.5平米に1袋(5 ½)です。





油吸着状況 各槽で交換時期が違います。油が多いと黒〈なっていきます。

	1 ক	2	3	4		1	2	3	4
1ヶ月後	交換				7ヶ月後	交 換			
2ヶ月後	交換	交換			8ヶ月後	交換	交換		
3ヶ月後	交換		交換		9ヶ月後	交換		交換	
4ヶ月後	交換	交換			10ヶ月後	交換	交換		
5ヶ月後	交換				11ヶ月後	交換			
6ヶ月後	交換	交換	交換		12ヶ月後	交換	交換	交換	

交換目安は、1槽目は1か月、2槽目は2か月、3槽目は3か月です。 4槽分離槽で、2.2箱/年間必要となります。

吸着テスト (その1 水面油膜吸着材 比較)



テスト方法: 吸着材を投入し1週間後、B重油を10ミリリットル投入し、 攪拌後5分間放置。1リットル採水し、ノルヘキ測定しました。

5 p p m

オイルブロック<粒状タイプ>



· B 重油10mlを 計量し 試料の上から投入



・重油と試料を まんべんな〈攪拌



·5分間放置後、 試料を濾過し サンプル水を採取



・ジョウゴに 油が付かない



·採水1% ノルヘキ測定 1ppm未満 (クリア)

米国産 商品A















·採水1%

・ジョウゴに 油が付いている

ノルヘキ測定 130ppm

(オーバー)

吸着テスト (その2 油吸着材 ポリプロピレンマットとの比較)

テスト方法: 油吸着材を投入し3日後、赤〈着色したサラダ油を30ミリリットル投入し、

7日間放置。1リットル採水し、ノルヘキ測定しました。

基準値 3 0 p p m

オイルブロック < 粒状タイプ >











ノルヘキ測定 1.8ppm (クリア)

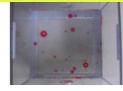
他社ポリプロピレンマット 商品B











ノルヘキ測定 1600ppm (オーバー)

弊社ポリプロピレンマット 商品C











ノルヘキ測定 20ppm (クリア)

オイルブロック < 粒状タイプ >





荷姿:ダンボール(50%入)



内容:5 に後×10袋(50に入)

オイルブロックの原料は、黒曜石パーライト。

黒曜石パーライトとは、黒曜石を焼成加工した無機質の発泡体。超軽石です。

大きさ約7mmの一粒一粒に油吸着材を特殊表面処理。

油を含んだ水から油だけを効果的に吸着します。

水を殆ど吸収しないため重くならず、回収処分作業も楽です。

オイルブロックは、嵩比重0.2以下と非常に軽く、水に浮くため、 貯水池、水たまりなどの水面での油除去処理に最適です。 また様々な種類の油を選択的に吸着します。





黒曜石

品質特性(オイルブロック粒状)

		吸着能力	1ケースの
		(g/ Q)	吸着量(2)
鉱物性	B重油(運輸省試験油)	140	7.95
	A重油	129	7.50
	軽油	125	7.62
	灯油	119	7.44
	タービン油(32)	133	7.56
植物性	ヒマシ油	200	10.65
	サラダ油	168	9.65

試験方法は「運輸省船舶局長通達 (船査第52号昭和59年2月1日)による」ものです。

処分については、 油泥扱いの産業廃棄物処理です。

性能(オイルブロック粒状)

吸水量	0.027g/g	3.0g/		
油吸着量	1.254g/g	140.0g/		

吸水量及び吸油量の測定法

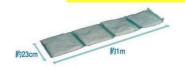
10のオイルブロックを20 の水面に浮かべ、 5分間静置後回収し金網上へ5分間放置。 その重量を測定する。

回収方法は2つ





その他、ニーズに合わせてお選びください。



<マットタイプ> (通常)



<マットタイプ> (カット) 1ポ×48枚入/箱



< ネット100 > (粒状3個投入) サイス 400 × 1000



<ネット50> (粒状2個投入) サイス 500 × 500

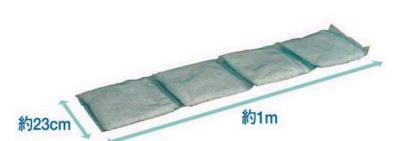


<フェンス> (3m×2本入/本) 60×200×3m/本

オイルブロック < マットタイプ >



粒状タイプをポリプロピレン製ネットで包装。 投入後 すぐに中の水溶性シートが溶け油吸着を開始。 浮き続けるので 常設の長期敷設が可能。



通常タイプ 4リットル(4連)×12枚入り/箱



カットタイプ 1リットル×48枚入り/箱



分離槽内敷設イメージ1



分離槽内敷設イメージ2

オイルブロック用 < ネット100&ネット50>



ネット100 (粒状3個投入用)



ネット50 (粒状2個投入用)



ネット100イメージ



ネット50イメージ





長さ: 3 m×幅: 20cm×厚さ: 6cm× 2 本/箱 (40リットル/本) 付属品 10 mビニロンロープ1本



大型油水分離槽



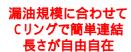
側溝で吸着

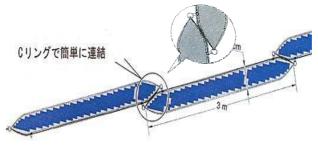


排出口 オイルフェンスと併用



国土交通省 河川での使用時 緊急時





芙蓉パーライト株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 TEL03-3666-7119 FAX03-3666-7819

HP: http://fuyo-p.co.jp